

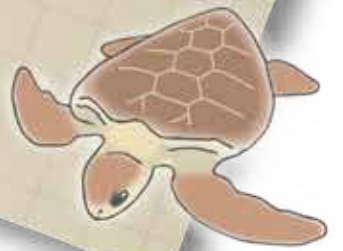
(案)

せいぶつ た ようせい
生物多様性

せんりやく

あかし戦略 2026

がいようばん
概要版



明石市

せいぶつたようせい 生物多様性とあかし戦略

せいぶつたようせい 1. 生物多様性とは

わたし す ちきゅう 私たちが住むこの地球に、たくさんの、いろいろな種類の生きものがいること、そしてその生きものたちがおたがいに^{かか}関わり合い、^{つながり}つながり合いながら生きていることを「生物多様性」といいます。

せいぶつたようせい 2. どうして生物多様性は大切な？

生きものは、たくさんの^{ほか}他の生きものと^{かか}関わり合いながら生きています。ある生きものがいなくなると、その生きものと^{かか}関わっていたたくさんの生きものがえいきょう^うを受けます。

今、世界ではものすごいスピードで生きものがいなくなっています。人間が生きもの^ののすみかを^{うば}うばったり、生きもの^のの^す住む^{かんきょう}かんきょうを変えたりしたために、生きていけなくなった生きものと、その生きもの^{にかか}関わっていた生きものが、^{とん}とん^どど^いなくなっているのです。

わたし 人たち人間は、生きものからのめぐみをたよりに生きています。これからもそのめぐみ^うを受けて生きていくためにも、わたし 人たち人間は自然や生きものを大切に守っていかなくてはなりません。

せいぶつたようせい まも 3. 生物多様性を守るために

たくさんの人がくらす^{あかし}明石市では、^{しがいち}市街地が広がり、^{しぜん}自然の^{のこ}残る場所^はは多くありません。残された自然を守り、^{しぜん}なくなった自然を取りもどすために、^{あかし}明石市では2011年に「^{せいぶつたようせい}生物多様性^{せんりやく}あかし戦略」を作りました。そして2026年、これまでの取りくみをふりかえり、これからどうしていけばよいかを考えて、新しい「^{せいぶつたようせい}生物多様性^{せんりやく}あかし戦略2026」を作りました。人と自然がいつまでもいっしょに生きていける社会をめざして、これからも取りくみを進めていきます。

明石市は、瀬戸内海に面した細長い形をしています。雨が少なく^{あたた}温かく、^くたくさんの人が暮らす町です。

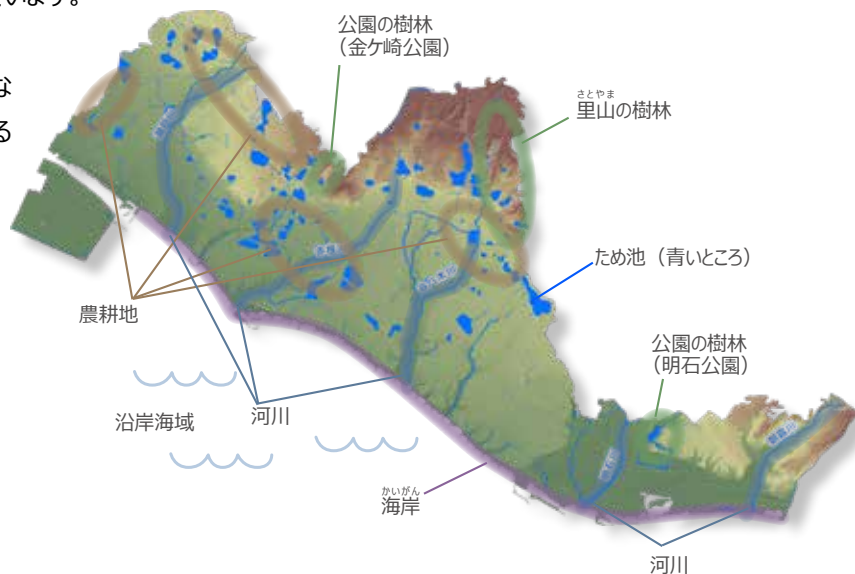
明石市の地形は、明石川の^{まわ}周りの^{へいち}平地と、^{しゅうい}その周囲に広がる^{にしがわ}台地^はやおか^{すな}かでできています。西側の「いなみの台地」は、^{すな}砂の層^{そう}でできていて、^な地下には^なたくさんの地下水が流れています。

明石市の^{かいがん}海岸^ののうち、^{ひしがわ}東側は川から運ばれた^{すな}砂がたまって^{すな}砂はまになり、^{にしがわ}西側は「^{びょうぶがうら}屏風ヶ浦」とよばれる^ながけ^なになっています。

明石市の^{かいてい}まわりの^{かい}海底^の地形は、^{ふか}深く^{なが}流れの速い^{はや}場所^はや、^{あさ}浅くて^{すな}砂がたまっている場所^{など}があり、^{へんか}変化^とに富んだもの^ななっています。

明石市の^{だいひょうてき}代表的な自然として、^{じゅりん}樹林⁽里山・公園)、^{ため池}ため池・^のうち^か農地、^{せん}河川、^{えんがんかいま}沿岸域⁽海岸および^{えんがんかいま}沿岸海域)⁾があります。

あかしのかんきょう




めざすことや取り組み

2050年ビジョン

しぜん きょうせい
自然と人が共生するまち
“あかし”を未来へつなぐ

ゴール1 健全な生態系を守ります


ミッション1 まとまりのある自然を守ります

取り組み1 まとまりのある自然を、生物多様性にはいりよして管理します 

まとまりのある自然の管理者に、生物多様性にはいりよして管理をしてもらうようお願いします。

目標：それぞれの管理者へ順次お願いします

ミッション2 自然をもっとよくなる仕組みを作ります

取り組み2 山や海で自然を守る活動を広げて、「自然共生サイト」をめざします 

まとまりのある自然について「自然共生サイト」認定をめざして、「30by30」へこうけんします。

目標：1か所以上

取り組み3 「自然共生サイト」で、生物多様性にはいりよして管理する仕組みを作ります

「自然共生サイト」で必要になる生物多様性にはいりよした管理体制をつくります。

ミッション3 地域の生態系を守ります

取り組み4 工事や開発をするときには、生物多様性にはいりよします

工事や開発をするときには、明石市レッドリストや兵庫県生物多様性へのはいりよ指針を活用します。

取り組み5 地域の生態系を守る活動をおうえんします

よい生態系を保つために、市民や市民団体による公園や海岸のせいそう活動をおうえんします。


目標：せいそう場所を決めて年1回以上

取り組み6 市街地のみどりがなくならないように守ります

市街地のみどりが減らないようにし、みどりの豊かさを感じられる取り組みを進めます。

目標：2026年度までにみどりを増やす活動をおうえんする仕組みを作る

ミッション4 「種の多様性」を守ります

取り組み7 数が減ってしまった生きものを守る活動を進めます 

明石市レッドリストにのっている種や、絶滅の危機のある種を守る活動を進めます。

目標：適当な時期に種を確認して守る方法を考える

ミッション5 生きもののはらぎを調べます

取り組み8 自然かんきょう調査をします

まとまりのある自然にいる生きものやかんきょうのはらぎを調べます。

目標：まとまりのある自然で、順次専門家による調査をおこなう

取り組み9 市民がおこなう自然かんきょう調査のおてつだいをします

市民といっしょに調査をしたり、市民が定期的に観察や調査ができるよう、サポートをします。

目標：調査ルートを考える

ミッション6 いろいろな人と話し合い、協力して生物多様性を守ります

取り組み10 きぎょうや大学などといっしょに生物多様性を守っていく仕組みを作ります



生物多様性国家戦略の行動目標に対応しています

目標：2030年までの期間目標です



キンラン

ミッション7 在来種にえいきょうをあたえる外来種を取り除きます

取り組み11 特定外来生物を取り除きます

生態系のバランスをくずす特定外来生物を取り除きます。国や県にもはたらきかけます。

目標：アライグマ・ヌートリアのほかなど

取り組み12 地域で外来種を取り除きます

その地域で広がってしまい、在来種にえいきょうをあたえている外来種を取り除きます。

目標：海岸で広がっている外来植物を取り除く

ミッション8 市街地に新しい生態系を作り出します

取り組み13 学校などのビオトープを活用します 目標：2か所での活用

取り組み14 市街地に木を植えます 目標：100本以上

ミッション9 グリーンインフラを進めます

取り組み15 自然の力を活かした工事をおこないます

自然の力を道路や公園などのまちづくりに生かし、持続可能な地域社会を作ります。

目標：自然の力を活かした工事をおこなう

ミッション10 沿岸海域で新しい生態系を作り出し、豊かな海づくりを進めます

取り組み16 海にかいそうが育つ場所（藻場）を作ります

魚のかくれがやえさになるかいそうが育つ場所（藻場）を作り、二酸化炭素の吸収にも役立ちます。

目標：アマモ場を広げ、ガラモ場を作る

ミッション11 生物多様性への関心を高める取り組みをします

取り組み17 生物多様性のことをみなさんにわかりやすく伝えます

目標：市民へ生物多様性の大切さを広める活動をする

取り組み18 「まとまりのある自然」のパンフレットを作ります

「まとまりのある自然」ごとに、生態系のじょうきょうなどを書いた冊子を作り、市民に配ります。

目標：5か所

ミッション12 自然にふれて、生物多様性のことを知ってもらおう取り組みをします

取り組み19 自然観察会をします

「まとまりのある自然」で、市民向けの勉強会や生きものの観察会をします。 目標：年3回

取り組み20 体験型かんきょう学習をします

地域の自然を活用して小学校でかんきょう学習をします。学習用のプログラムやノートを作ります。

目標：市内全小学のサポート かんきょう学習用ノートを作る

取り組み21 かんきょう体験プレーパークをおこないます

公園などを利用して、子供のこころや想像力、生きる力を育むプレーパークをします。

目標：年10回

ミッション13 生物多様性の大切さを教える人を育てます

取り組み22 かんきょう学習ができるリーダーを育て、登録してもらいます

生物多様性についてわしいかんきょう学習のリーダーを育てます。また、登録して協力してもらいます。

目標：リーダーを育てる講座をおこなう

取り組み23 かんきょう学習サポーターに登録してもらいます

目標：年1回おしゅうし、いつでも登録してもらう

取り組み24 小学校の先生が学ぶためのかんきょう学習の勉強会をします

目標：年1回

これまでの取り組み



ニホンアカガエル

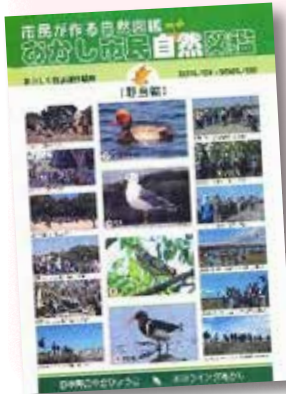
明石市では、自然を守ったり、増やしたり、自然の大切さを伝えたりする取り組みを、これからも進めていきます。ここでは、これまでの取り組みをしょうかいします。みなさんの周りでおこなわれている取り組みはあるでしょうか。

明石市レッドリストとガイドブックを作りました！

「明石市の大切にしたい生きもの～明石市レッドリスト～」とそのガイドブックを作りました。ぜひ手にとってみてください。



みんなで調べて、生きものずかんを作りました！



みんなで明石市の生きものを調べて、ホームページやパンフレット（「あかし市民自然ずかん」）でしょうかいする取り組みをしています。これまでに鳥と砂浜の生きものを調べました。

学校ビオトープを整備しました！

貴崎小学校では、学校の池をビオトープとして作りかえました。もともと植えられていた外来種のスイレンやキショウブをぬいて、地域のため池に生えている植物を植えなおしました。ぜつめつが心配されている種類の植物も育てて、学校の体験授業に使われています。市内のため池が減る中で、新しい生態系を作り出す取り組みとして、期待されています。



市民による市民のための自然ガイドブックを作りました！

明石の自然や文化を感じられるまち歩きコースをしょうかいした「明石の自然歩き隊!!」。市民による市民のためのまち歩きガイドブックです。



かねがさき金ヶ崎公園では、

「エコウイングあかし」や地域の人たちなど、たくさんの方が関わって、公園の里山を管理しています。公園の生きものを調べたり、増えすぎた竹を切ったり、遊歩道をきれいにしたりしています。自然ゆたかな公園では、たくさんの生きものが見られます。ぜひ観察してみてください。



「ふれあいの里山」復活大作戦！

小学校で自然体験学習を
しています！

谷八木小学校では、アマモのポット
なえを種から育てて、地域の人に協
力してもらい、学校の近くの海へ植
えました。アマモが増えて、たくさ
んの生きものがすむゆたかな海にな
ることが期待されます。



高石東小学校では、ため池の役割
や歴史を学び、季節をとおしてため
池の生きものを観察する「ため池
探検隊」に取りくみました。ため池
にはたくさんの生きものがいること
がわかりました。

藤江小学校では、藤江海岸でぜつめ
つが心配されている「ハマビシ」を
守るため、「ふじえっこ探検隊ぜつ
めつきぐしゅ ハマビシ レスキュー
大作戦」をおこないました。海岸の
生きもの探しや、海のプラスチック
問題の学習にも取りくみました。



タヌキ



みなさんをお願いしたいこと

明石市の自然を守り、

よりよいものにながら未来へつないでいくために、

市民のみなさんにぜひお願いしたいことがあります。みなさんには、生物多様性について知り、未来の子供たちへ生物多様性のめぐみをつないでいく、大切な役割があります。

管理者の役割
市民の役割


- ★生物多様性にはいりよした管理をお願いします
- ★自然のことを学ぶ活動や授業をとおして、生きものや生物多様性について知りましょう
- ★海岸や公園をきれいにする活動に参加しましょう

市民団体の役割

- ★まちをきれいにしたり、生ごみを肥料にしたり、できることからはじめてみましょう
- ★自然にやさしい品物を選ぶなど、自然にやさしい生活をしましょう
- ★外来種について知り、生きものを飼育するときには放したり捨てたりせず、ルールを守りましょう
- ★専門知識を活かして地域の担い手となり、生態系の保全活動の推進をお願いします
- ★自然とのふれあいや体験の場を作り、かんきょう学習のリーダーをお願いします

企業の役割


- ★生物多様性にはいりよした事業活動をお願いします
- ★生物多様性分野での社会こうけん、社員教育、企業緑地の活用などをお願いします



水とみどりでつながる あかしネイチャーポジティブ宣言

世界では、陸地の75%は著しく改変され、海洋の66%は複数的人為的な要因の影響下にあり、1700年以降湿地の85%以上が消失しました。また、調査されているほぼ全ての動物、植物の約25%の種の絶滅が危惧されているなど、過去50年の間、人類史上かつてない速度で地球全体の自然が変化しており、このままでは生物多様性の損失を止めることができず、持続可能な社会は実現できないとされています。









こうした事態を受け、国においては、「生物多様性国家戦略2023-2030」を閣議決定し、生物の種の数が増え回復していくポジティブな状態にしていくため、2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする、いわゆる「30by30目標」を掲げ取組を進めています。



明石市では、これまでに、気候非常事態宣言に基づき、事業者の脱炭素経営に向けた支援や太陽光発電施設の設置促進など「ゼロ・カーボンあかし」の実現に向けた取組、循環型社会の実現のためごみ減量施策などの「ゼロ・ウェイストあかし」の取組を進めてきました。

持続可能な社会を実現するためには、これまでの取組に加え、生物多様性国家戦略を踏まえた取組を強く推し進め、里山から海までの水とみどりでつながるあかしの豊かな自然を健全な生態系として効果的に保全・再生することが必要です。

明石市は、以下の5つの方針のもと、
ネイチャーポジティブの実現を目指すことをここに宣言します。

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 1 里山、ため池、農地、公園、河川、海岸など自然環境の保全・回復に取り組むとともに、陸の栄養を海まで届ける「水とみどりでつながるネットワーク」を強化します。
 - 2 海洋生物の生息・生育環境の保全に努め、持続可能な海洋や漁場など、豊かな海の実現に取り組みます。
 - 3 特定外来生物対策に取り組み、生態系の保護・保全に努めます。
 - 4 生物多様性の大切さを普及・啓発し、自然と関わる人たちのつながりを強化し、自然と共生する人づくりを進めます。
 - 5 これらの取組を産官学民が共創し、それぞれの立場で健全な生態系を回復、保全し、向上させる社会・経済活動を進展させ、豊かな自然環境を次世代に継承します。

令和8年 1月 18日

明石市長 丸谷 聡子